

あらぶんちよ散歩

vol.088

はやぶさ ちょう 隼町



半蔵門に近く、桜田濠に面した隼町。江戸時代は武家屋敷が並ぶ武家地だったそうです。国立劇場や最高裁判所のほか、近くに国会議事堂もあり、建物探訪も楽しめるエリアです。春うらら、お堀の桜を愛でながら、ぶらりとお散歩してみませんか？

「日本一目立たないゆるきゃら」との異名を持つ、国立劇場のマスコットくろごちゃん。



今月のエリアウォーク
8540歩
内堀通り沿いを歩きながらお花見が楽しめる

1 伝統芸能情報館

〒千代田区隼町4-1
☎03-3265-7411
開10:00~18:00
(第3水は~20:00)
※展示により休みが異なる

2 文化堂 国立劇場店

〒千代田区隼町4-1
☎03-3239-2417
開開場から終演まで
※公演のない日は休み

3 レストランパティオ

〒千代田区隼町1-1
ホテルグランドアーク
半蔵門1F
☎03-3288-1636
開7:00~22:00
(ランチタイム
11:00~16:00)
※無休

4 喫茶 半音

〒千代田区
隼町3-1 1F
☎03-3263-3633
開11:00~19:00
※月・火休

5 元気になるcafé SUNS

〒千代田区隼町3-19
集東ビル1F
☎03-6272-9632
開11:30~15:00LO
17:00~21:45LO
※土・日・祝休

日本芸術文化振興会 和志武倫美さん

床机と野点傘の並ぶさくらまつりをお楽しみください

都内の桜というとソメイヨシノが有名ですが、国立劇場の前庭には駿河桜、小松乙女など珍しい桜が19本植えられています。中でも、駿河小町は国立劇場生まれの品種なんです。皆さまにゆっくりと桜を楽しんでいただけるよう、さくらまつり期間中は床机と野点傘を並べたお休み処をご用意して、ほうじ茶を無料でお配りしています。駿河小町の苗木の販売も行っておりますので、お花見がてらお立ち寄りください。また、3/27には歌舞伎公演の千秋楽が、4/1からは国立演芸場で4月の上席公演があります。この機会に国立劇場では、筋のわかりやすい「通し狂言」を中心とした、歌舞伎や文楽のほか、舞踊、邦楽、雅楽、民俗芸能などさまざまな公演を上演しています。日本の伝統芸能の素晴らしさをどうぞ体感してください。



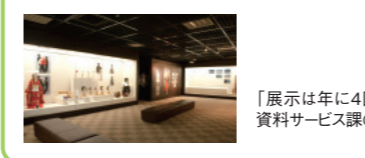
チケットのお問い合わせは
0570-07-9900まで(10:00~18:00)

国立劇場さくらまつり
3/27(金)~4/5(日)
12:00~15:00(雨天中止)
※桜の開花状況により期間変更あり
<http://www.ntj.jac.go.jp/kokuritsu.html>

1 伝統芸能情報館

歌舞伎や文楽のことを 入場無料で学べる

国立劇場の公演に絡めて、様々な博物資料を中心とした企画展示を行っている。現在は5/25まで「文楽入門」を開催中で、人形浄瑠璃について初心者にも分かりやすく紹介している。入場無料。



「展示は年に4回変わります」と資料サービス課の吉野明子さん

2 文化堂 国立劇場店

くろごちゃんグッズほか ここでしか買えないものも

大劇場と小劇場にショップがあり、国立劇場主催公演のプログラムをはじめ、歌舞伎や文楽など、伝統芸能に関わるグッズや書籍、CD・DVDなどを販売している。くろごちゃんグッズも多数。



カレンダー1,200円、くろごちゃんエコバッグ620円ほか。文化堂の松本重喜社長のおすすめはくろごちゃんぬいぐるみ930円

3 レストランパティオ

おすすめはテラス席 期間限定のお花見弁当も

帝国ホテルから受け継いだ味が楽しめるレストラン。平日のランチは1,000円前後から。数量限定のメニュー、フレンチトースト(1,100円)も人気とか。40席あるテラス席では、ホテルの庭や国立劇場の桜を愛でながら食事ができる。お花見ランチボックスもあり。



↑洋風お花見ランチボックス2,980円は3/21(土)から4/12(日)の期間限定(11:00~16:00のみ) →「夏はビアテラスにも」とスタッフの中村三江さん

4 喫茶 半音

ていねいに淹れた珈琲とくつろぎの時間が味わえる

豆はスペシャルティコーヒーにこだわり、1杯ずつ挽きたてをハンドドリップで提供してくれる。名曲喫茶をイメージしたという店内にはアンティーク家具が並び、BGMのクラシックとともにしっとりとした時間が流れている。2種類ある自家製のケーキもおすすめ。



↑ブレンド500円、かぼちゃのチーズケーキ300円。→「豆の良さを引き出せるよう、心がけながら淹れています」という店主の赤尾さほりさん

5 元気になるCafé SUNS

体のことを考えたヘルシーフードのカフェ

無農薬の田んぼで作った玄米や有機野菜、天然酵母のパンなど、体にいい素材にこだわったカフェ。料理には白砂糖を使用せず、スイーツにもかぼちゃから作った甘味料を使用。ランチは日替わり6種類。ランチのご飯は玄米、雑穀入り玄米、酵素玄米から選べる。



↑本日のスーパーヘルシープレート1,000円は有機野菜がたっぷり →「美味しく楽しく」がモットーというオーナーの山口純司さん

建物としても美しい最高裁判所 予約制の見学ツアーに参加してみよう



最高裁判所に実は内部を見学できるツアーがあるのをご存知ですか？ 祝日を除く毎週月・火・木・金曜日の15:35から約35分間。2週間前から前日までに予約をすれば参加できます(3/20~4/20は見学不可。4/21から再開)。裁判の仕組みや最高裁の建物の歴史などを映像で学んだ後は、大法廷や大ホールにある「正義」のブロンズ像などを見学できます。10月の「法の日フェスタ」では普段は撮影禁止の大法廷や大ホールを撮影したり、法服を着る体験もできるそうです。

申込み先:03-3264-8151(月~金9:00~17:00)

ハヤブサやタカを訓練する 鷹匠の屋敷があったことに由来

徳川家康が江戸にやって来た当初、この界隈には鷹匠たちの屋敷があったそうです。鷹匠とは、タカやハヤブサを獲物を捕らえるよう訓練する専門家のことで、隼町の名はこのことに由来。江戸時代は武家屋敷が多く、画家・思想家としても有名な田原藩の家老・渡辺華山もこの地で生涯の大半を過ごしたそう。明治以降は軍関連の施設が立ち並び町へ。また、戦後は、昭和41年に国立劇場が、47年に最高裁判所ができ、司法と伝統芸能に関わる町に生まれ変わりました。



町名由来板には武家地だったころの地図も